

Aikou

2021年6月園だより

愛香南部幼稚園

〒921-8035

金沢市泉が丘 1-16-8

Tel 241-3860

「花の日」

園長 土肥 聡

キリスト教会では6月第二週の日曜日を「花の日」として定めています。アメリカの教会から始まった行事です。子どもたちが持ってきた花を飾って礼拝を捧げた後、その花を持って病院や施設を訪問していました。その行事が日本にも伝えられて、教会だけでなく、キリスト教幼稚園や学校でも花の日が行われています。

この花の日に読まれる聖書の言葉は「野の花がどのように育つのかを考えてみなさい」です。これはイエスさまが、野に咲いている小さい花をご覧になって言われた言葉です。私が朝、玄関で子どもたちを迎えていると、道端の咲いていた小さな花を持ってくる子どもがいます。大人が道を歩いても、片隅に咲いている小さな花に注目することがないかもしれません。子どもと同じ目線に立つとき、小さいものの存在に気が付かされます。

野の花は自分の意志で道に咲いたのではありません。神さまが花に命を与えて、美しく咲かせてくださっています。花を見るときに私たちの心が和み、慰められます。子どもたちも、小さな花のように人々に慰めを与える人になってほしいと思います。

「信頼関係」

アドバイザー 横江 栄子

梅雨の頃を迎えました。子どもたちは雨が降ると園庭で遊べなくなるのをすごく残念に思っています。「先生、今日もお外で遊べないね!」「散歩に行かないね」「ほんとだね!早くお天気になってほしいね」

6月の「保育カリキュラム」には、園内で過ごす「自由遊び」の充実が求められています。また体を使うリズム活動も保育のプログラムの中で十分に時間をとりたいと思います。新入園した子どもたちもすっかり園生活になれ、新しいお友だちや保育者との信頼関係が保たれています。この信頼関係がすごく大切です。この上で保育内容が豊かに展開します。

保育者は園児一人ひとりの成長、発達を大切にしながら信頼関係に応じて保育が進められていくように、自己研鑽を深め、保育内容について教師会での話し合いを深めていきたいと願っています。

すみれ組

午前中の園庭での遊びにも慣れて、砂場ではトラックで砂を運んだり、食べ物の型抜きは少し濡れた砂でないときれいにできないことも何度も挑戦して「できた～！」またトロッコを引っ張って「おかいものについてきま～す！」と、好きなおもちゃを見つけて遊びが広がってきました。お部屋に入るとすぐに手洗い場に直行して生活習慣が身についてきました。ランチタイムはやはりお母さん弁当が一番楽しみで、ちらっとふたを開けてのぞいています。でも最近はごはん給食のおかずに毎回苦戦し「もう、いらない」とふたを閉めてしまいます。一口でもいろいろな食品を味わえるように少量にして「おいしいね！」「～ちゃん食べたよ！おいしいよね！」と励ましながら、楽しい雰囲気の中で食べられるようにと願っています。

土肥ミチ子



ばら組

ばら組にパン屋さんがオープンしました。コック帽が目印の”ほかほかぱんやさん”。たくさんのお客さんに来てもらうにはどうしたらいいのかな？と新しいパンを考えたり、呼び込みのちらしを作ったり…。(Paypayが使えたり、イートインスペースを作ったり、よく見ているなあと思いました。)先生ばかりお客さんになっていた4月と比べると役割を決めて遊ぶことも増えてきました。

積み木で作る“町づくり”や手作り“もぐらたたき”ゲームなど自由なアイデアでいろんな遊びが生まれています。特に最近は、それぞれ作ったものを”繋げて遊ぶ”姿が増えてきました。相談し合いせっせせと“合体”!!「もっとすごくなるんだからね」と力を出し合いながら遊んでいます。

北村愛実



たんぼぼ組

少しずつ会話が豊かになってきた子どもたち。「一緒にあそぼ」「まぜて」「やってみよう！」と友だちとのやりとりも増えてきました。思いの違いからのトラブルも起こりますが、お互いの話を聞くことで落ち着くこともあります。さまざまなトラブルはこれからも起こるかと思いますが、一人ひとりの思いをしっかりと聞きながら楽しんで遊べるように環境を整えたいと思います。

先日、朝顔のタネを植えました。一粒ずつ小さなポットに植えましたが、芽が出てきて大興奮!!「わあ、大きくなって～」「ぼく(わたし)の植えたの、これかな？」と生長を楽しみにしている様子があります。これからプランターに植え替えて、蔓が伸びていく様子を子どもたちと見守っていきたいと思います。

氣谷彩子



ゆり組

「おばけやしきにきてください」とばら組とたんぼぼ組に招待状を渡しました。ゆり組になってから、1階のクラスのお友だちを招待して遊びたいとずっと考えてきました。先月は手作り楽器演奏会を行ったのですが、盛り上がり過ぎていて残念な思いをしました。今度こそ！楽しんでもらおうと始めました。「お化けは怖いからやりたくない」と話していた子も布をかぶってお化け変に身。みんなで作り上げることが出来ました。何度も相談を重ねて作ったおばけ屋敷。「全然怖くなかった」という反応でしたが、みんなを招待出来るととても楽しかったようです。小さいクラスの子たちと一緒にあそぶ中で年長らしいことが出来たと感じた時でした。

それでも「もっと〇〇すればよかった」と反省点も見つけ、次に向けて動き出しました。ばら組のモグラたたきゲームに刺激された様子です。どんどんゆり組の進化が続きそうです！

富樫立子

